



## 公共施設の再編は地域の合意が条件です

市教育委員会から2件の提案がありました。一つは、小中学校適正配置についてで、一定規模以下の小規模小中学校の統廃合を検討していくというもの。もう一つは、今後の小中一貫教育についてで、義務教育9年間の小中一貫教育を行う「義務教育学校」や「小中一貫型小・中学校」への移行を検討していくというものです。

他方、人口15,700人の東出雲町では、旧八東郡地域の公民館再編と同じように、町内4公民館を統合し1館体制に移行する提案を教育委員会から受けています。今後は検討組織が設置され検討が深

められる予定です。

さて、上記の小中学校適正配置によつての公民館はどうなっていくのでしょうか、旧市では1小学校区に1公民館となっていますが、小学校が整理されると公民館も整理されていく理屈になります。

人口減少などで財政が困窮し公共施設適正化に進む総論は理解できますが、これらの課題は、地域や関係者の皆さんとの議論と合意が条件になります。地域の拠点やまちづくりに大きな影響を及ぼす問題ですので、一つひとつ注意深く考察していきたいと考えています。

### 平成28年度決算を認定 9月松江市議会

9月定例会議は、9月6日から29日までの会期で開会。市長からの提出議案は16件、決算案件14件で、うち条例案件は

4件で児童クラブ使用料を引き上げる条例改正などの案件も提出されました。

補正予算では、一般会計が4億2,347万円余。子育て支援関連の予算、ハローワークプラス開設準備事業、我が事・丸ごとの地域づくり推進事業、松平不昧公200

年祭開催準備経費、衆議院選挙費などを計上しました。いずれも原案の通り議決、決算の認定をしました。

(予算金額や提出議案の詳細は市ホームページや市報等をご覧ください)

## 最近の活動から

### 決算特別委員長に選任されました

9月6日の9月定例会議の初日、平成28年度決算特別委員会が開会され、指名推薦によって野々内は委員長に選任されました。

決算特別委員会は、14日の質疑・分科会 決算特別委員長に選任 分担の決定を経て、26日は質疑に対する監査委員の答弁・分科会長報告・質疑・討論・採決・会派意見と続き、決算14件全てを認定すべきものと決し、会派意見18件を委員会意見とすることに決しました。そして29日の本会議において、審査結果を報告し議決されました。一生懸命委員長の職を務めさせていただきましたが、委員会意見は平成30年度予算に反映するよう期待しています。



### 台風18号による意宇川流域の避難勧告

9月17日夜、台風18号による大雨で意宇川流域に避難勧告が出されました。意宇川の避難勧告発令基準が昨年変更され今までより30cm低い水位だったり、対応や住民周知が混乱したようです。本市では久しぶりの勧告だったようですが、人命に関わることであり、今後に残した課題を教訓として検証していきたいと考えています。



9月17日午後9時頃の意宇川・出雲郷橋付近

### 各方面で活動しています

最近では地域の課題の相談を受けることが多くなってきました。議員活動は走り回ることにあると実感しています。

活動は列挙にいとまがありませんが、その一端を紹介します。8月10日は加藤勇氏の褒章受章祝賀会での祝辞、8月23日の農政会議東出雲支部総会で会長としての会運営、9月23日のわこう杯親善ゲートボール大会での祝辞、10月1日の面足山万葉公園の清掃活動で会長としての奉仕など。地域課題などは、地域の皆さんとの意見交換、関係する機関との調整などに取り組み、一つでも解決するよう努力をしています。



加藤勇氏 褒章受章祝賀会であいさつ



わこう杯親善ゲートボール大会であいさつ 農政会議東出雲支部総会で支部長としてあいさつ



面足山万葉公園を守る会会長としてあいさつ

## 後援会のお知らせ

ののうち誠後援会にご加入いただき、一緒にまちづくりをしていきたいと思います。この度後援会だよりvol.25を発行いたしましたので、ご高覧いただけますようお願い申し上げます。

### ののうち誠 プロフィール

昭和25年生まれ(現在66歳)出雲郷小学校→東出雲中学校→島根県立松江農林高校→東出雲町役場就職(平成23年3月に町参事を最後に退職)→平成23年8月松江市議会初当選、平成25年4月2期目当選、平成29年4月3期目当選

ホームページ、  
ブログはこちらから



### ◆後援会事務局◆

〒699-0108 松江市東出雲町出雲郷1670  
TEL・FAX / 0852-52-3117  
Eメール nonouchi@mable.ne.jp  
<http://www.mable.ne.jp/~nonouchi/>



# 一般質問

野々内は、9月定例市議会では連続24回目となる一般質問を行いました。一問一答方式で大きく3問を質問したうち、2件については新聞で取り上げていただきました。(一般質問とその回答の全文はホームページで紹介しています)

## 〇市産木材の活用と林業振興について

公共施設等の木造化や木質化などの達成状況と今後の予定を伺う。

昨年2月議会の一般質問での答弁では、市木材利用行動計画の平成26年度の市産・県産木材の公共施設等への利用量の目標値が160㎡、これに対する達成率は18.3%という極めて低いものでした。現在の達成率を伺います。

矢野産業経済部長 平成28年度までの3年間では、目標610㎡に

対した措置の手順が示されていますが、どう解消していくのか伺います。

藤原歴史まちづくり部長 市内で、外部破損が進み草木が著しく繁茂している物件は290件あると把握し、10月末完了の全現地調査で特定空き家の軒数が把握できると考えています。

特定空き家



市内の危険な空き家

件は、速やかに助言指導し、それに対応がなければ勧告・命令、最終的には行政代執行による建物解体になると考えています。

空き家を定住対策の資源とするための具体的な活用展開を伺う。

市の計画での「地域の活性化資源」として、市全体による利活用の検討によって、入居者を募る空き家バンクの二層の充実と活用を望みます。また、貸し出しを阻む課題が家財の存在で、それらを収



し実績は134㎡、達成率22%という状況でした。なお、平成33年4月開校予定の玉湯まがたま学園では、5千㎡を超える使用量を見込んでいます。

公共施設の木造化の具体的な取り組みについて伺う。

玉湯まがたま学園計画は、地域の林業振興に大きく役立つだけではなく量の多さから全国でも注目を集めようとしています。市では先行して木材準備を進める予算措置を提案しましたが、現在の木材調達状況を伺います。また、今後の教育施設などの木造化への考え方を伺います。

高橋副教育長 玉湯まがたま学園の施設建築には、5千㎡の地域材が

容・処分をする制度、施設等をつくれれば活用が進むと考えます。空き家を厄介者として考えないで、資源として定住対策にすること提案します。

藤原歴史まちづくり部長 できるだけ多くの情報を空き家バンクに搭載する取り組みを進めたいと考えています。また、購入空き家には解体費用の助成、空き家を地域活性化のために改修・活用するための補助制度を創設しました。

また、家財の取扱いは、先進事例などを調査し検討を開始したいと考えています。

## 〇市の花「樅」の振興について

金正寺の五色八重散樅の市文化財指定と、樅サミットの誘致について伺う。

本市の花は平成18年にボタンと樅が制定されていますが、「金正寺五色八重散樅」という珍しい樅の群生が東出雲町にあります。同じものが京都の与謝野にあるということで、真言密教系の行者が京都

必要になる見込みです。数量確保のために木材協会松江支部等と協議を重ね、2年度に分けて発注することで市産材と県産材で100%の調達のめどが立ちました。木造化の考え方として、公共施設全への考えはありませんが、可能な限り地域の木材を使い、木のよさを活かしていきたいと考えています。



校舎・園舎は木構造の玉湯まがたま学園(完成予想図)

1件当り最大20万円を助成する松江市産木材活用事業の状況と今後について伺う。

矢野産業経済部長 事業の実績については、減少傾向で申請があつていきます。さらなる市産材の流通が図れるよう取り組んでいく考えです。

松江市産木材活用事業の助成先に第2次産業も加えるべきと考えるが所見を伺う。

から持ち込み植えたものではないかと伝えられ、一番大きな木は推測500年くらいの樹齢がある古木です。この木を市の天然記念物に指定をすべきであると考えますが見解を伺います。

また、地域の活性化に資することを目的に「樅サミット」という全国的なコンベンションがあります。全国に広くPRし市の花「樅」を再認識する機会として、「樅サミット」の誘致に手を上げるべきであると思いますが、お考えを伺います。松浦市長 専門家の詳細調査を行い、重要なものである場合には、文化財保護条例に基づいて、文化財保護審議会へ指定についての諮問を行なっていくこととなります。



金正寺五色八重樅(中心木)の現地調査

矢野産業経済部長 この事業は、市産木材が外国産材などと比べて割高であり、建築主の負担軽減を図ることによって市産材を積極的に利用していただくための制度で、今後利用の伸び悩みなどの原因を研究して検討したいと考えています。

循環型林業の担い手育成について伺う。

矢野産業経済部長 県立農林大学校林業科(定員10名)の平成28年度までの卒業生159名のうち117名が林業関連の仕事に就職。その内9割が県内で就職するなど、林業の担い手育成の一翼を担っていると考えています。しかし近年では定員割れを起こしています。

## 〇空き家対策について

危険空き家の数と具体的な対策について伺う。

危険空き家である特定空家の数、それに準ずる危険空き家はどの程度あると考えているのか伺います。法や条例によって特定空家

樅サミットは、平成33年の国際文化観光都市指定70周年に花を添える記念事業の一環として、開催への検討を進めているところです。

## 11月議会予定

- 11月29日 本会議 (会期の決定、提案説明)
- 12月4日 一般質問
- 5日 一般質問
- 6日 一般質問、議案質疑、委員会付託
- 7日 総務委員会、予算委員会、総務分科会
- 8日 教育民生委員会、予算委員会、教育民生分科会
- 11日 経済委員会、予算委員会、経済分科会、建設環境委員会、現地視察
- 12日 建設環境委員会、予算委員会、建設環境分科会
- 15日 予算委員会 (分科会長報告、質疑、討論、採決)
- 19日 本会議 (委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)